

シンポジウム 感覚・知覚と環境デザイン

主旨

本シンポジウムは、感覚・知覚心理研究の基礎とも言うべき研究方法論を取り扱う前半と、感覚・知覚心理研究の展開として今日的な話題を紹介する後半からなっている。

前半では、感覚・知覚心理研究の方法心理的な評価尺度や被験者数などの研究方法のほか、物理要素と人間の生理心理反応との関係性を追求する理論的な知見を紹介する。

後半では、空間と人間の背景を読み解く研究や社会的な要請でもある省エネルギー性能や環境性能への対応などの研究を紹介する。感覚・知覚を考慮した環境デザインについて展望する。

プログラム

12:40	受付開始	
13:00-13:10	趣旨説明	西名大作（広島大学）
13:10-13:55	「感覚・知覚心理研究の方法-人間の感覚と評価尺度、被験者数について-」	梅宮典子（大阪市立大学）
13:55-14:40	「感覚・知覚心理研究の方法-物理的要素と感覚・知覚、人間の行動のとりえ方について-」	山中俊夫（大阪大学）
14:50-15:35	「感覚・知覚心理研究の展開-評価者の社会・文化的背景による景観の心理的評価構造の相違-」	西名大作（広島大学）
15:35-16:20	「感覚・知覚心理研究の展開-複合環境評価を活かした省エネルギー-」	松原斎樹（京都府立大学）
16:20-17:00	まとめ・閉会の挨拶	土田義郎（金沢工業大学）

主催——日本建築学会 環境心理生理運営委員会 感覚・知覚心理生理小委員会
後援——人間・環境学会、日本デザイン学会
日時——2015年10月17日（土）13:00～17:00
会場——建築会館 会議室（東京都港区芝5丁目26番20号）
参加費——会員1,000円、会員外2,000円、後援団体1,500円、学生500円（資料代含む）
定員——60名（申込先着順）
申込方法——[日本建築学会ウェブサイト「催し物・公募」](#)のページよりお申し込みください。
問合せ——日本建築学会事務局 事業グループ 中村
TEL：03-3456-2057 E-mail：nakamura*/aij.or.jp /*/を@に変えてください。